

## 第 24 回 CO2 環境対策技術研究会

日時：2015 年 12 月 23 日（水・祭日）14:00～15:30

場所：クリクラ町田工場、中央研究所

第 24 回研究会は、クリクラ町田工場、中央研究所の施設を見学した。クリクラは日本全国に安心・安全な水をリターナブルボトルで直接宅配している会社です。この工場は全国に 47 カ所ある工場の 1 つですが、中央研究所は全国の工場の水を検査しています。工場施設を見学できるのは町田と本庄工場の 2 カ所。

施設見学の前に佐藤尚男工場長から挨拶があり、その後は女性のコンシェルジュ 2 名が絶妙なタイミングで交替しながら研究所棟の 2 階から 5 階までを案内していただいた。見学後に、佐藤工場長から予め送っておいた質問事項に応じていただき、その場での追加質問にも応えていただき、予定の時間を少しオーバーして研究会を終了した。各自にお土産を頂いて工場を後にする。

交流会はバスと電車を乗り継いで町田駅の「創作ダイニング夜の宴町田店」で行った。見学会・質疑応答への参加者は 12 名、交流会参加者は 11 名であった。

スケジュールと内容は以下のとおりである。

1. 集合：2015 年 12 月 23 日（水・祭日）13 時 00 分 小田急線「鶴川」駅改札口
2. 工場の見学 14:00～15:00
3. 質疑応答 15:00～15:30
4. 交流会：16:30～18:30 町田駅東口「創作ダイニング夜の宴町田店」

### 1. 見学：14:00～15:00

- 1) 研究所棟 2 階の受付。予定したバスより 1 つ前の便に乗れたので、13:30 の開場前に到着。ゆったりとした受付フロアで休憩。クリクラのボトルを配っていただいた。ボトルにお絵かきができるのでどうぞとマジックペン置かれたが誰も書かなかった。

受付で待つ参加者



2) 中央研究所の見学  
受付の会社案内のパネル



佐藤工場長とコンシェルジュ



(1)水ギャラリー3階

世界中の水のボトルが展示されている。一般向けから超高級品までボトルも様々である。



(2)DVD鑑賞4階

クリクラの製造工程をDVDで見る。

(3)研究所検査室5階 撮影禁止

微生物検査室、ボトル検査室、サーバー検査室がある。

(4)お水の実験2階

2階の受付フロアに戻り、簡単な実験を行う。水道水とクリクラ水を紙コップに採り、それぞれに試薬を垂らすと、水道水は塩素に反応してピンク色に変色する。



### 3) 町田工場見学 撮影禁止

小さな工場であるが月産 11 万本を生産しているとのことである。

#### (1)原水タンク

水道水を原水として使用している。

#### (2)糸巻き濾過

#### (3)RO 膜

濾過と RO 膜で塩素やミネラル分を除き、純水を作る。

#### (4)リンサー

純水にミネラル分を添加して、硬度 30 のクリクラ水を製造する。

#### (5)充填機

回収して洗浄した 12 リットル入りのリターナブルボトルにクリクラ水を充填する。

#### (6)キャップ打込み

ボトルにキャップをつける。

#### (7)日付印字

ボトルに賞味期限等の印字をする。賞味期限は 6 か月だそうである。

#### (8)製品検査

人間が一つ一つ手で 12 リットル入りのリターナブルボトル拭きながら検査する。

## 2. 質疑応答

お祭り広場でクリクラ水をご馳走になった後、予め提出していた下記の質問事項に対して、佐藤尚男工場長から回答があった。かなりの部分は DVD やコンシェルジュから説明があったが、改めて回答していただいた。

### 1) 製品の製造について

#### (1)原水は何を使っていますか？

水道水を使っている。

#### (2)その水をそのままボトリングしていますか？

水道水から塩素やミネラル分等の不純物を RO 膜等で取り除き、純水を作る。その純粋に新たにミネラル分を添加してクリクラ水を作り、これをボトリングしている。

#### (3)ボトリング前にどのような処理（工程）をとっていますか？

リターナブルボトルの洗浄、消毒を行なっている。

#### (4)主な検査項目を教えてください。

42 項目／回の検査を行っている。

#### (5)塩素処理などの消毒は行っていますか？

パイプ等は熱水で、ボトルはジア塩素酸で洗浄している。

#### (6)賞味期限は設定されていますか？

リターナブルボトルの賞味期限は 6 か月である。

#### (7)暖めて美味しい飲み方を教えてください。

塩素が含まれていないので、温めても匂いがない。



## 2) 製品の販売について

(1)急速に販路を拡大していると思いますが、

① これまでの販路はどのようなところですか？

事業所の給茶器、工場の水分補給、産院で売り出したが、現在は一般家庭用が75%である。

② 今後の販路はどこを目指していますか？

・高齢化対応で12リットルボトルを半分の6リットルにするなどして家庭用の普及を更に進める。

・天然水や水素水の需要にも応えていく。

(2)クリクラの理念はどのようなものでしょうか？

安心・安全・便利

## 3) 工場の環境対策について

(1)環境対策で配慮していることは何ですか？

太陽光パネルを設置している。

(2)CO<sub>2</sub>を発生する工程はありますか？

CO<sub>2</sub>を発生する工程はない。

(3)廃棄するものは何ですか？それをどのように排出処理していますか？

・リターナブルボトルで廃棄するものは、リサイクル業者に有料で引き取って貰っている。

・洗浄水はPH処理して、下水道に流している。

## 4) その他の質問

(1)HACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point) 認証について

・大阪工場を取得している。町田工場も取得を目指したが、まだ取得していない。

・HACCPを取得することのメリット等、質問者と議論が噛み合っていなかった  
ので、質問を変えて貰った。

(2)ミネラルの添加方法について

純水に液体で添加しているが、成分等は企業秘密である。

広場での参加者の集合写真



### 3. クリクラについて

- 1) クリクラは、株式会社ナックの事業本部の一つです。
- 2) 株式会社ナックの事業内容は、クリクラ事業、ダスキン事業、with 事業（環境衛生）、住宅事業、建築コンサルティング事業等です。
- 3) 株式会社ナック は日本の、住宅環境衛生を中心としたサービス業の会社であり、1971年 東京都町田市にて資本金 200 万円で設立、「ダスキン鶴川」の名でダスキン事業を開始。現在は、東証一部上場企業で、資本金は 45 億円です。
- 4) クリクラの名称は、クリエイトのクリと、暮らしのクラを結び付けた造語とのこと。

### 4. 交流会：16：30～18：30 町田駅東口「創作ダイニング夜の宴町田店」

- 1) 参加者は、11名。
- 2) 個室で和やかに2時間たっぷり懇談できた。

交流会場の参加者の皆さん



以上  
(文責：内藤 堅一)